

和歌山県高等学校体育連盟 剣道専門部 申し合わせ事項

平成18年5月	確認
平成21年4月	確認
平成22年4月	確認
平成23年4月	確認
平成25年4月	確認
平成26年4月	確認
平成27年4月	確認
平成28年4月	確認
平成29年4月	確認
平成30年4月	確認
平成31年4月	確認
令和3年4月	確認

・高校総体について

①参加資格

同一学年における出場は1回限りとする。なお詳細については「全国総体開催基準要項」を参照のこと。

②日程

- ・1日目 開会式、男子団体A予選リーグ、女子個人
- ・2日目 女子団体A予選リーグ、女子団体B、男子個人
- ・3日目 男子団体B、男女団体A決勝トーナメント、閉会式

③試合について

- ・男女団体戦A 4分3本勝負、勝負の決しない場合は延長2分、なお決しない場合は引き分けとする。
- ・男女団体戦B 3分3本勝負、勝負の決しない場合は引き分けとする。
- ・男女個人戦 4分3本勝負、勝負の決しない場合は4分毎の延長を勝負の決するまで行う。男女個人戦各上位4名は各校人数枠とは別にエントリーすることができる。尚、男女団体戦Aの予選・決勝リーグは、勝ち(1点)・負け(0点)・引き分け(0.5点)とし、勝ち点・勝者数・本数の順で順位を決め、すべてが同点の場合代表者戦(1本勝負)で順位を決定する。

また、勝者数・本数が同点の場合は、代表者戦4分1本勝負、勝負の決しない場合は4分毎の延長を勝負の決するまで行う。

④その他

男女団体Aチームの選手とBチームの選手の入れ替えは不可とする。

団体戦において、4名の場合は次鋒を。3名の場合は次鋒と副将を空席とする。

・新人大会について

①参加資格

同一学年における出場は1回限りとする。なお詳細については「近畿選抜大会要項」を参照のこと。

②日程

- ・1日目 開会式、女子団体、男子団体
- ・2日目 女子個人、男子個人、閉会式

③試合について

- ・全国選抜大会出場校枠が2校の場合はベスト4進出校で決勝リーグを行う。
- ・全国選抜大会出場校枠が1校の場合は従来通りトーナメントを行う。
- ・男女団体戦 4分3本勝負、勝負の決しない場合は引き分け。
- ・男女個人戦 4分3本勝負、勝負の決しない場合は4分毎の延長を勝負の決するまで行う。各学年の部各上位2名は各校人数枠とは別にエントリーすることができる。
- ・その他、予選リーグの順位については上記「高校総体」に準ずる。

④選手について

- ・団体戦において、4名の場合は次鋒を。3名の場合は次鋒と副将を空席とする。
- ・エントリーは上限7名とし、各試合ごとにオーダーの変更を可能とする。
- ・オーダーの変更は、所定の用紙に記入し該当試合場の主任に提出することとする。

選手の変更について

団体戦の選手変更については、申し込み後抽選会までは2名を限度に所定の届出用紙により変更することができる。抽選会後の選手変更(エントリー以外からの)は原則として認めない。但し、傷病等で特別な場合は、医師の診断書等および所定の届け出用紙により、各大会の当日行われる、顧問会議で専門委員長に申し出があれば検討する。個人戦については上記理由においても、認めない。

・足袋、テーピング、サポーターなどの使用について

届け出る必要はないが、不適切なものは外させることもある。

・使用する竹刀について

- ・竹刀は全日本剣道連盟試合審判規則第3条・同細則第2条に記載されている通りとし、高校総体・学年別選手権・新人大大会および国体予選において使用するすべての竹刀に検量検印を受けること。
- ・その他、全日本剣道連盟試合・審判規則、全国高体連・近畿高体連剣道専門部申し合わせ事項及び全国高体連剣道専門部努力目標に準ずる。

国体少年の部推薦基準、予選会

(得点表)

		優 勝	2 位	3 位	ベスト 8
学年別	(2年生の部)	6	4	2	1
	(1年生の部)	6	4	2	1
新人大大会個人		8	6	4	2
総合体育大会個人		10	8	6	4

◎上記の得点で19点以上を取得した選手は、国体選手とする。

◎新人大大会、総合体育大会連続優勝者は、国体選手とする。

◎上記得点は、個人戦のみを対象とする。

(選考委員会)

- ◎インターハイ(個人・団体)・国体・近畿大会(個人・団体)・選抜大会・県総体等において、顕著な成績を残した選手については、県高校総体後に開催される選考委員会(常任委員会が兼ねる)において推薦することができる。また、決定することもできる。

(予選会)

- ① 学年別選手権大会 得点のみの取得とする
 ② 新人大大会 個人戦上位4名は最終予選へ
 ③ 1次予選会 上位8名は最終予選へ(予選通過者の途中辞退は出来ない)
 ④ 県高校総体 個人上位8名
 特例として、選考委員会より推薦された若干名を加えることができる。
 ⑤ 最終予選会 上記までで選出された選手により実施し国体選手(6名)を決定する。
 ただし、決定選手がいる場合は除く。

(平成14年4月より一部改定)
 (平成22年4月より一部改定)
 (平成23年4月より一部改定)
 (平成25年4月より一部改定)
 (平成26年4月より一部改定)
 (平成27年4月より一部改定)
 (平成28年4月より一部改定)
 (平成29年4月より一部改定)
 (平成30年4月より一部改定)
 (平成31年4月より一部改定)
 (令和3年4月より一部改定)